

日本地震学会 2024 年度秋季大会タイムテーブル

日程 2024 年 10 月 21 日 (月) ~ 10 月 23 日 (水)

会場 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター (新潟県新潟市)

【大会受付】 2 階メインホール前

【A会場】 4 階国際会議室

【B会場】 3 階中会議室 301

【C会場】 3 階中会議室 302

【D会場】 2 階中会議室 201

【授賞式および記念講演】 A会場

【ポスター会場】 2 階メインホール

【団体展示】 2 階メインホール

	時間	A会場	B会場	C会場	D会場
10月 21日 (月)	09:00 ~	S09. 地震活動とその物理	S06. 地殻構造	S04. テクトニクス	S18. 地震教育・地震学史
	10:30 ~			S12. 岩石実験・岩石力学 ・地殻応力 S05. 地球熱学	S19. 地震一般・その他
	12:40 ~ 17:00	S20. 授賞式および記念講演 (A会場)			
	17:15 ~ 18:45	ポスターセッション S03. 地殻変動・GNSS・重力, S04. テクトニクス, S05. 地球熱学, S06. 地殻構造, S09. 地震活動とその物理, S10. 活断層・歴史地震, S11. 地震に伴う諸現象, S12. 岩石実験・岩石力学・地殻応力, S13. 地殻流体と地震, S18. 地震教育・地震学史, S19. 地震一般・その他, S21. 情報科学との融合による地震研究の加速, S23.2024年8月8日日向灘の地震とその影響			
10月 22日 (火)	09:00 ~	S23. 2024年8月8日日向灘の地震とその影響	S09. 地震活動とその物理	S21. 情報科学との融合による地震研究の加速	S02. 地震計測・処理システム
	10:45 ~	S22. 令和6年能登半島地震			
	13:30 ~	S22. 令和6年能登半島地震	S09. 地震活動とその物理	S21. 情報科学との融合による地震研究の加速 S03. 地殻変動・GNSS・重力	S10. 活断層・歴史地震
	15:15 ~		S08. 地震発生の物理	S03. 地殻変動・GNSS・重力	S10. 活断層・歴史地震 S13. 地殻流体と地震
	17:15 ~ 18:45	ポスターセッション S01. 地震の理論・解析法, S02. 地震計測, S07. 地球及び惑星の深部構造と物性, S08. 地震発生の物理, S14. 地震予知・予測, S15. 強震動・地震災害, S16. 地盤構・地盤震動, S17. 津波, S22. 令和6年能登半島地震			
	19:00 ~ 21:00	懇親会 (会場: ホテル日航新潟 4階 朱鷺B)			
10月 23日 (水)	09:00 ~	S22. 令和6年能登半島地震	S08. 地震発生の物理	S01. 地震の理論・解析法	S15. 強震動・地震災害
	10:45 ~	S08. 地震発生の物理	S17. 津波		S15. 強震動・地震災害 S16. 地盤構造・地盤震動
	13:30 ~	S08. 地震発生の物理	S17. 津波	S01. 地震の理論・解析法 S14. 地震予知・予測	S07. 地球及び惑星の内部構造と物性
	15:15 ~			S14. 地震予知・予測	

10月22日(火) 口頭発表

A会場 (4階国際会議室) 午前 S23. 2024年8月8日 日向灘の地震とその影響 S22. 令和6年能登半島地震	B会場 (3階中会議室301) 午前 S09. 地震活動とその物理	C会場 (3階中会議室302) 午前 S21. 情報科学との融合による地震研究の加速	D会場 (2階中会議室201) 午前 S02. 地震計測・処理システム
招待講演 (講演時間 12分・質疑応答 3分) 通常講演 (講演時間 12分・質疑応答 3分) 座長: 西田 究、久保 久彦、友澤 裕介	通常講演 (講演時間 12分・質疑応答 3分) 座長: 高木 涼太、中島 淳一	招待講演 (講演時間 25分・質疑応答 5分) 通常講演 (講演時間 12分・質疑応答 3分) 座長: 寒河江 皓大、加藤 慎也	通常講演 (講演時間 12分・質疑応答 3分) 座長: 荒木 英一郎、宮澤 理絵
9:00 S23-01 2024年8月8日の日向灘の地震の概要とその発生に伴い発表した南海トラフ地震臨時情報について * 武田 清史 ¹ 、東田 進也 ¹ 、岩切 一宏 ¹ 、吉田 昌弘 ¹ 、宮岡 一樹 ¹ 、長谷川 安秀 ¹ 、平原 拓実 ¹ 、清水 淳平 ¹ 、菅沼 一成 ¹ 、野田 朱美 ¹ 、山本 斐 ¹ 、藤田 健一 ¹ 、溜瀧 功史 ¹ 、廣田 伸之 ¹ 、青木 重樹 ² (¹ 気象庁地震火山部地震火山技術・調査課、 ² 気象庁地震火山部管理課)	9:00 S09-11 東京海北部の地震の集: 海山の沈み込みが原因か? * 中島 淳一 (東京工業大学理学部地球惑星科学系)	9:00 S21-01 Convolutional Neural Networks for Seismic Velocity Model Building and Uncertainty Quantification * Fan Yu ¹ , Ehsan Jamali Hondori ² , Jin-Oh Park ¹ (¹ Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, ² Geoscience Enterprise Inc.)	9:00 S02-01 光ファイバDASを用いた河川堤防の状態把握への取り組み * 内藤 昌平 ¹ 、小西 千里 ² 、櫻井 健 ² 、小川 直人 ² 、中村 洋光 ¹ 、藤原 広行 ¹ (¹ 防災科学技術研究所、 ² 応用地質株式会社)
9:15 S23-02 2024年8月8日日向灘の地震に伴う津波: N-netとDONETの海底水圧計記録 * 久保田 達矢、三好 崇之、久保 久彦、鈴木 亘、青井 真、刃刀 卓、武田 哲也 (防災科学技術研究所)	9:15 S09-12 南海トラフ沈み込み帯におけるプレート境界周辺のS波速度異常域と深部テクトニック微動活動の空間変化との関係 * 高山 朗文 ¹ 、佐脇 泰典 ² 、Ruan Yihuan ¹ 、伊藤 喜宏 ³ 、前田 拓人 ⁴ 、濹谷 拓郎 ³ (¹ 京都大学大学院 理学研究科地球惑星科学専攻、 ² 国立研究開発法人 産業技術総合研究所、 ³ 京都大学防災研究所、 ⁴ 弘前大学大学院理工学研究科)	9:15 S21-02 再帰型ニューラルネットワークによる鉄道の早期地震警報のための地震動と列車振動の識別 * 野田 俊太、岩田 直泰 (鉄道総合技術研究所)	9:15 S02-02 DAS記録のS/P振幅比による震源メカニズム推定—サイクルスキップを伴う場合— * 船曳 祐輝 ¹ 、宮澤 理絵 ² (¹ 京都大学大学院理学研究科、 ² 京都大学防災研究所)
9:30 S23-03 2024年8月8日日向灘M7.1周辺の地震活動の特徴と今後の考えられるシナリオ * 山下 裕亮 ¹ 、堀 高峰 ² (¹ 京都大学防災研究所附属地震災害研究センター 宮崎観測所、 ² 海洋研究開発機構)	9:30 S09-13 Matched filter 法で明らかにした沖縄トラフにおける群発地震のマイグレーション * 安部 祐志 ¹ 、中村 衛 ² (¹ 琉球大学理工学研究科、 ² 琉球大学理学部)	9:30 S21-03 ラベル不均衡問題への対処による深層学習を用いた走時読み取りモデルの強化 * 加藤 慎也 ¹ 、長尾 大道 ¹ 、今泉 允聡 ² 、飯尾 能久 ³ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 東京大学総合文化研究科、 ³ 阿武山地震・防災サイエンスミュージアム)	9:30 S02-03 Novel Method of Love Wave Detection and FK Analysis Using Distributed Acoustic Sensing (DAS) Data from the Sakurajima Network * Syed Idros Bin Abdul Rahman ¹ , Kentaro Emoto ¹ , Takeshi Nishimura ² , Haruhisa Nakamichi ³ , Kimiko Taguchi ² , Hisashi Nakahara ² , Takeshi Hirose ² , Satoru Hamanaka ¹ (¹ Kyushu University, ² Tohoku University, ³ Kyoto University)
9:45 S23-04# 2024年8月8日日向灘の地震(Mw7.0)に伴う南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震注意) * 平田 直 (国立大学法人東京大学)	9:45 S09-14 Seismicity in shallow part of Hyuga-nada subduction zone by ocean bottom seismometer from 2015 to 2022 * Chingyu Hu ^{1,2} , Masanao Shinohara ¹ , Yusuke Yamashita ³ , Takashi Tonegawa ⁴ , Tomoaki Yamada ¹ , Takeshi Akuhara ¹ , Kimihiro Mochizuki ¹ (¹ Earthquake Research Institute, The University of Tokyo, ² Graduate School of Science, The University of Tokyo, ³ Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University, ⁴ Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology)	9:45 S21-04 複数観測点の波形を用いた地震検出手法: 観測点ごとに得られた深層学習による検出結果の統合 * 徳田 智雄 ^{1,2} 、長尾 大道 ^{1,2} (¹ 東京大学地震研究所、 ² 東京大学大学院情報理工学系研究科)	9:45 S02-04 洋上風力発電施設を利用した海域DAS観測網の新展開 * 小川 豊 ¹ 、杉岡 裕子 ² (¹ エヌケーシステム株式会社 技術本部、 ² 神戸大学 海洋底探査センター)
10:00 S23-05# 「南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震注意)」はどう伝えられたか * 入江 さやか (松本大学 地域防災科学研究所)	10:00 S09-15 日本海溝北部における浅部微動分布とS波速度構造の空間相関 * 高木 涼太 ¹ 、東 龍介 ¹ 、日野 亮太 ¹ 、西田 究 ² 、篠原 雅尚 ² (¹ 東北大学大学院理学研究科、 ² 東京大学地震研究所)	10:00 S21-05 機械学習に基づく日本海溝におけるテクトニック微動の網羅的検出と震源決定 * 寒河江 皓大 ¹ 、加納 将行 ² 、矢部 優 ¹ 、内出 崇彦 ¹ (¹ 産業技術総合研究所、 ² 東北大学大学院理学研究科)	10:00 S02-05 海底分散型音響センシングデータの自動検出の活用に向けて * 山花 弘明 ^{1,2} 、篠原 雅尚 ² (¹ 東京大学大学院、 ² 東京大学地震研究所)
10:15 S23-06 2024年8月8日に発表された南海トラフ地震臨時情報の問題点 * 石橋 克彦 (神戸大学名誉教授)	10:15 S09-16 日本海溝北部における浅部テクトニック微動の相対震源決定を用いた高精度震源分布 * 源 孝祐、日野 亮太、松本 一駿 (東北大学理学部理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター)	10:15 S21-06 Random Forestによる四国西部の連続地震波形記録に基づくスロースリップイベントの検出 * 大竹 和機 ¹ 、加藤 愛太郎 ¹ 、岡田 悠太郎 ² 、西村 卓也 ³ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 東北大学災害科学国際研究所、 ³ 京都大学防災研究所)	10:15 S02-06 南海トラフ地震発生帯での歪による広域・リアルタイム地殻活動把握の取り組み * 荒木 英一郎、横引 貴史 ¹ 、町田 祐弥 ¹ 、木下 正高 ² 、松本 浩幸 ¹ 、辻 修平 ¹ 、馬場 慧 ¹ 、西田 周平 ¹ 、有吉 慶介 ¹ 、堀 高峰 ¹ (¹ 海洋研究開発機構 海域地震火山部門、 ² 東京大学地震研究所)
10:30 休憩	10:30 休憩	10:30 休憩	10:30 休憩
座長: 伊東 優治、佐脇 泰典	座長: 水戸川 司、及川 元己	座長: 縣 亮一郎、矢野 恵佑	座長: 辻 修平、伊藤 亜紀
10:45 S22-01 群発地震活動と2024年M7.6能登半島地震の発生 * 加藤 愛太郎 ¹ 、中川 茂樹 ¹ 、蔵下 英司 ¹ 、酒井 慎一 ¹ 、江本 賢太郎 ² 、松本 聡 ² (¹ 東京大学地震研究所、 ² 九州大学)	10:45 S09-17 小笠原諸島硫黄島で発生する相似地震の活動 * 及川 元己、上田 英樹 (国立研究開発法人防災科学技術研究所)	10:45 S21-07# ベイズ統計を規範とした物理現象のモデリング * 徳田 悟 (九州大学)	10:45 S02-07 南海トラフにおける圧力計による海底地殻変動観測の最近の取り組み * 松本 浩幸、荒木 英一郎、有吉 慶介、横引 貴史、西田 周平、町田 祐弥、辻 修平 (海洋研究開発機構)
11:00 S22-02 緊急海底地震観測による令和6年能登半島地震東部震源域における精密余震活動 * 篠原 雅尚 ¹ 、日野 亮太 ² 、高橋 努 ³ 、尾島 浩一郎 ³ 、小平 秀一 ³ 、東 龍介 ² 、山田 知朗 ¹ 、悪原 岳 ¹ 、山下 裕亮 ¹ 、蔵下 英司 ¹ 、村井 芳夫 ³ 、一瀬 建日 ¹ 、中東 和夫 ¹ 、馬場 久紀 ⁸ 、太田 雄策 ² 、伊藤 喜宏 ⁴ 、八木 原寛 ⁹ 、仲谷 幸浩 ⁹ 、藤江 剛 ³ 、佐藤 利典 ⁶ 、塩原 肇 ¹ 、望月 公廣 ¹ 、酒井 慎一 ^{10,11} 、白鳳丸 KH-24-JE01およびKH-24-JE02C 乗船研究者 ¹¹ (¹ 東京大学地震研究所、 ² 東北大学大学院理学研究科、 ³ 海洋研究開発機構、 ⁴ 京都大学防災研究所、 ⁵ 北海道大学大学院理学研究科、 ⁶ 千葉大学大学院理学研究科、 ⁷ 東京海洋大学学術研究院海洋資源エネルギー学部門、 ⁸ 東海大学海洋学部、 ⁹ 鹿児島大学大学院理工学研究科、 ¹⁰ 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター、 ¹¹ 所属機関なし)	11:00 S09-18 中米沈み込み帯における群発地震検出: 地震活動とスロースリップイベントの関係に関する示唆 * 西川 友章 ¹ 、Kostoglodov Vladimir ² 、西村 卓也 ¹ (¹ 京都大学防災研究所、 ² メキシコ国立自治大学)	11:15 S21-08# 機械学習と数理モデル: 順問題と逆問題のデータ駆動型解法 * 武石 直也 (東京大学)	11:00 S02-08 海底掘削孔内歪観測における測器構造や近傍の地殻構造の影響推定 * 辻 修平、荒木 英一郎、松本 浩幸、町田 祐弥、横引 貴史、Ettore Barbieri、古市 幹人 (海洋研究開発機構)
11:15 S22-03 震源分布クラスタリングによる令和6年能登半島地震の断層面地出 * 佐脇 泰典 ¹ 、椎名 高裕 ¹ 、寒河江 皓大 ¹ 、佐藤 圭浩 ^{2,3} 、堀川 晴央 ¹ 、宮川 歩夢 ¹ 、今西 和俊 ¹ 、内出 崇彦 ¹ (¹ 産業技術総合研究所 地質調査総合センター、 ² 東京都立大学、 ³ 産業技術総合研究所 人工知能研究センター)	11:15 S09-19 空間的相互作用と長期的周期性を考慮したテクトニック微動のホークス過程モデル * 矢野 誠也 ¹ 、井出 哲 ¹ 、野村 俊一 ² (¹ 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻、 ² 早稲田大学商学学術院大学院会計研究科)		11:15 S02-09 MOWLASの8番目の観測ネットワーク: N-net ~ 沖合システムの観測開始と沿岸システムの構築 ~ * 青井 真 ¹ 、武田 哲也 ¹ 、功刀 卓 ¹ 、篠原 雅尚 ^{1,2} 、三好 崇之 ¹ 、植平 賢司 ¹ 、望月 将志 ¹ (¹ 防災科学技術研究所、 ² 東京大学地震研究所)
11:30 S22-04 2024年能登半島地震発生前の地震活動のNatural time解析 * 勝俣 啓 (北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター)	11:30 S09-20 房総半島沖における群発地震検出と小規模なスロースリップとの関連の調査 * 吉村 嶺 ¹ 、西川 友章 ² 、西村 卓也 ² (¹ 京都大学、 ² 京大防災研)		11:30 S02-10 海域火山活動リアルタイムモニタのための海底観測システム開発 * 伊藤 亜紀 ¹ 、中野 優 ¹ 、中島 倫也 ¹ 、田中 聡 ¹ 、塩原 肇 ² 、岩崎 慎 ³ 、佐藤 正一 ³ 、奥村 重厚 ³ 、吉田 信 ³ 、佐藤 峰司 ³ (¹ 海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所、 ³ 白山工業株式会社)
11:45 S22-05 2024年能登半島地震 (M7.6) 破壊域に発達する海域活断層の構造イメージ * 朴 進午 ¹ 、Mohammadigheymasi Hamzeh ¹ 、楊 一戈 ¹ 、Jamali Hondori Ehsan ² 、三澤 文慶 ³ 、野 徹雄 ⁴ 、大塚 宏徳 ⁵ (¹ 東京大学大気海洋研究所、 ² 株式会社ジオサイエンス、 ³ 産業技術総合研究所、 ⁴ 海洋研究開発機構、 ⁵ 神戸大学海洋底探査センター)	11:45 S09-21 クーロン応力変化を用いた関東地方の海溝型地震サイクル中に変化する地震活動のモデル化 * 水戸川 司 ¹ 、西村 卓也 ² (¹ バシフィックコンサルタンツ株式会社、 ² 京都大学防災研究所)	11:45 S21-09 Physics-Informed Deep LearningによるInplane地殻変動の順・逆解析 * 岡崎 智久 ¹ 、平原 和朗 ^{1,2} 、伊藤 武男 ³ 、加納 将行 ⁴ 、上田 修功 ¹ (¹ 理化学研究所 革新知能統合研究センター、 ² 香川大学、 ³ 名古屋大学大学院環境学研究科、 ⁴ 東北大学大学院理学研究科)	11:45 S02-11 超深海域での広帯域地震観測へ向けた海底地震計(UDBBOBS)の開発 * 塩原 肇 ¹ 、伊藤 亜紀 ² 、杉岡 裕子 ³ 、篠原 雅尚 ¹ (¹ 東京大学 地震研究所、 ² 海洋研究開発機構 海域地震火山部門、 ³ 神戸大学 海洋底探査センター)
12:00 S22-06 2024年能登半島地震 (Mw 7.5) に伴う地震時地震波速度変化 Paris Nicolas ¹ 、* 伊東 優治 ² 、Brenquier Florent ³ 、Wang Qing-Yu ³ 、Higueret Quentin ³ 、盛 一実 ⁴ 、高木 涼太 ⁵ 、内田 直希 ⁵ 、岡田 知己 ⁵ 、平原 聡 ⁵ 、木村 洲徳 ⁵ 、酒井 慎一 ² (¹ グルノーブルアルプ大学環境地球科学研究所、 ² 東京大学地震研究所、 ³ グルノーブルアルプ大学地球科学研究所、 ⁴ 中国科学技術大学地球と空間科学学院、 ⁵ 東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター)	12:00 S09-22 Japan M5 or over forecast for 2025 based on rate/state stress transfer projects strong influences of the 2011 M 9.0, 2024 M 7.5 and M 7.1 events * Shinji TODA ¹ 、Ross S Stein ² (¹ International Research Institute of Disaster Science, Tohoku University, ² Tembler Inc.)	12:00 S21-10 HypoNet Nankai: 物理情報深層学習を用いた南海トラフ域での高速震源決定ツール * 縣 亮一郎、馬場 慧、仲西 理子、中村 恭之 (海洋研究開発機構)	12:00 S02-12 hypoTDによる高精度震源を用いた反射法探査の試み * 堀内 茂木 ¹ 、佐藤 優子 ¹ 、吉田 稔 ² 、平山 義治 ² 、藤原 広行 ³ (¹ 株式会社 ホームサイスマメータ、 ² 株式会社白山工業、 ³ 防災科学技術研究所)

#は招待講演

A会場 (4階国際会議室) 午後 S22. 令和6年能登半島地震	B会場 (3階中会議室 301) 午後 S09. 地震活動とその物理 S08. 地震発生の物理	C会場 (3階中会議室 302) 午後 S21. 情報科学との融合による地震研究の加速 S03. 地震変動・GNSS・重力	D会場 (2階中会議室 201) 午後 S10. 活断層・歴史地震 S13. 地殻流体と地震
通常講演 (講演時間 12分・質疑応答 3分) 座長: 浅野 公之、小林 広明	通常講演 (講演時間 12分・質疑応答 3分) 座長: 三井 雄太、熊澤 貴雄	通常講演 (講演時間 12分・質疑応答 3分) 座長: 加納 将行、太田 雄策	通常講演 (講演時間 12分・質疑応答 3分) 座長: 服部 健太郎、石辺 岳男
13:30 S22-07 2024年能登半島地震 (M7.6) の強震動と震源過程 * 浅野 公之 ¹ 、岩田 知孝 ² (1 京都大学防災研究所、2 京都大学名誉教授)	13:30 S09-23 統計モデルを用いた大地震前の前震活動加速現象に関する全世界的調査 * 小山 凱 ¹ 、西川 友章 ² 、西村 卓也 ³ (1 京都大学 理学研究科、2 京都大学 防災研究所)	13:30 S21-11 Bayesian non-parametric inference for the ETAS model * Yuanyan Niu ^{1,2} , Jiancang Zhuang ^{2,1} (1 The Graduate University for Advanced Studies, SOKENDAI, 2 The Institute of Statistical Mathematics)	13:30 S10-01 四万石地震と信濃川地震帯のテクトニクス * 河内 一男 (新潟薬科大学)
13:45 S22-08 令和6年能登半島地震の強震記録と地殻変動を再現するための特性化震源モデル * 金山 聖、永野 正行 (東京理科大学)	13:45 S09-24 地震活動カタログのみから誘発地震活動を定量化するためのモデリング * 熊澤 貴雄、尾形 良彦 (統計数理研究所)	13:45 S21-12 頑健なスベクトル推定に基づく GNSS 時系列の時空間特性 * 矢野 恵佑 ¹ 、加納 将行 ² 、高島 哲也 ³ 、田中 優介 ² 、太田 雄策 ² (1 統計数理研究所、2 東北大学、3 大阪大学)	13:45 S10-02 1923年大正関東地震後の日記記録における有感距離の検討 * 山本 卓 ¹ 、加納 靖之 ² 、大邑 潤三 ² (1 東京大学大学院、2 東京大学地震研究所)
14:00 S22-09 修正経験的グリーン関数法を用いた 2024年能登半島地震の特性化震源モデル * 長坂 陽介 (港湾空港技術研究所)	14:00 S09-25 ETAS モデルによる非一様な地震データの逆解析 * 尾形 良彦 (統計数理研究所)	14:00 S03-01 最近日向灘で発生した大規模長期的スロースリップイベントの検出とその時空間滑り分布の推定 * 河端 浩希 ¹ 、瀬下 幸成 ¹ 、* 吉岡 祥一 ¹ 、Ortega-Culaciati Francisco ² (1 神戸大学、2 チリ大学)	14:00 S10-03 有感記録に基づく 1802年享和佐渡小水地震の地震像の検討 * 西山 昭仁 ¹ 、石辺 岳男 ² 、片桐 昭彦 ³ (1 奈良文化財研究所、2 地震予知総合研究振興会、3 新潟大学災害・復興科学研究科)
14:15 S22-10 経験的グリーン関数を用いた波形インバージョンにより推定された 2024年能登半島地震の震源断層の破壊過程 * 野津 厚 (港湾空港技術研究所)	14:15 S09-26 2023年2月6日にトルコで発生した M7.8 と M7.5 の地震前後の地震活動について * 榎城 一嘉 ^{1,2,3,4} 、熊澤 貴雄 ⁵ 、井筒 潤 ^{5,1} 、堀 高峰 ^{4,1} 、長尾 年恭 ^{5,1} 、尾池 和夫 ¹ (1 静岡県立大学、2 静岡大学、3 統計数理研究所、4 海洋研究開発機構、5 中部大学、6 東海大学)	14:15 S03-02 駿河トラフ浅部におけるやや長期的なスロースリップイベントの検出とすべり分布推定 * 菊地 祐次 ¹ 、三井 雄太 ² 、加納 将行 ³ (1 静岡大学大学院総合科学技術研究科、2 静岡大学理学部地球科学科、3 東北大学大学院理学研究科)	14:15 S10-04 フィリピン海スラブ内の地震の可能性が高い 1861年西尾尾地震 * 原田 智也 ¹ 、西山 昭仁 ² 、石辺 岳男 ³ (1 原子力規制庁、2 奈良文化財研究所、3 地震予知総合研究振興会)
14:30 S22-11 稠密 GNSS 観測網に基づく 2024年能登半島地震のすべり分布および断層幾何の網羅的評価 * 山田 太介 ¹ 、太田 雄策 ² 、西村 卓也 ² 、平松 良浩 ³ 、木下 陽平 ⁴ 、吉田 圭佑 ¹ (1 東北大学大学院理学研究科、2 京都大学防災研究所、3 金沢大学、4 筑波大学)	14:30 S09-27 日本列島周辺で発生したマグニチュード7級地震の余震域拡大速度と b 値 (b-positive): プレート境界地震の特性 * 三井 雄太 ¹ 、宇田川 裕矢 ² 、宮本 彩加 ³ (1 静岡大学理学部地球科学科、2 元 静岡大学理学部地球科学科、3 元 静岡大学総合科学技術研究科)	14:30 S03-03 ハイレート GNSS データの変曲点自動検出: 数値実験と房総半島付近におけるスロースリップイベントの事例 * 新井 瑠子 ¹ 、三井 雄太 ² (1 国立大学法人 静岡大学、2 静岡大学理学部地球科学科)	14:30 S10-05 江戸時代・明治初期の歴史地震・歴史噴火によって西日本に到達した連地津波を記した歴史資料の収集 * 服部 健太郎 (関西大学)
14:45 S22-12 強震・測地・測地データから推定した 2024年能登半島地震の震源過程 * 小林 広明 ¹ 、渡辺 哲史 ¹ 、藤嶋 一紀 ² (1 株式会社小堀鐸二研究所、2 慶應義塾大学 SFC 研究所)	14:45 S09-28 余震数と断層面積の関係 * 橋本 徹夫 ¹ 、横田 崇 ² (1 防災科学技術研究所、2 愛知工業大学)	14:45 S03-04 ソフトバンク独自基準データからの宇宙地球科学用途利活用コンソーシアム (CSESS) の構築と現状の到達点 * 太田 雄策 (東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター)	14:45 S10-06 Source of the 1755 Lisbon Earthquake: A Phenomenological Reconstruction Based on Historical Records and Tsunami Simulation * Thystere Matondo Bantidi, Takeo Ishibe, Ritsuko S. Matsu'ura (Association for the Development of Earthquake Prediction (ADEP))
15:00 休憩	15:00 休憩	15:00 休憩	15:00 休憩
座長: 今西 和俊、高橋 努	座長: プリード ネルソン、寺川 寿子	座長: 飯沼 卓史、横田 裕輔	座長: 大上 隆史、大邑 潤三
15:15 S22-13 近地アレキ記録のバックプロジェクションによる 2024年能登半島地震の複雑な破壊進展のイメージング * 今西 和俊 ¹ 、椎名 高裕 ¹ 、浦田 優美 ¹ 、関根 秀太郎 ² (1 産業技術総合研究所、2 地震予知総合研究振興会)	15:15 S08-01 マルチビームバックプロジェクション法と強震記録を用いた 2016年4月16日熊本地震の広帯域周波数破壊過程モデルの推定 * プリード ネルソン (防災科学技術研究所)	15:15 S03-05 OBPR データ再解析による東北地方太平洋沖地震の最大前震 (M7.3) に伴う余震変動の時空間的発展 * 平田 京輔 ¹ 、日野 亮太 ¹ 、山田 太介 ¹ 、源 孝祐 ¹ 、大塚 英人 ¹ 、太田 雄策 ¹ 、久保田 達矢 ² (1 東北大学大学院理学研究科、2 国立研究開発法人 防災科学技術研究所)	15:15 S10-07 震度点群データを用いた機械学習による震源推定の試み - 歴史地震への適用可能性の検討 - * 石辺 岳男 ^{1,2} 、小川 陽子 ³ 、西條 裕介 ³ 、古村 美津子 ¹ 、松浦 律子 ¹ (1 公益財団法人地震予知総合研究振興会、2 統計数理研究所、3 構造計画研究所)
15:30 S22-14 動的破壊シミュレーションが明らかにした 2024年能登半島地震の滑り及び地殻変動分布における非平面断層形状の効果 * 安藤 亮輔 ¹ 、福島 洋 ² 、吉田 圭佑 ² 、今西 和利 ³ (1 東京大学、2 東北大学、3 産業技術総合研究所)	15:30 S08-02 2016年熊本地震震源域における応力場のモデル化の試み * 永山 勇志 ¹ 、松本 聡 ² 、松島 健 ² 、江本 賢太郎 ² 、高山 竜之介 ¹ 、河野 太紀 ¹ 、奥田 祐大 ¹ (1 九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻、2 九州大学大学院理学府理学研究科附属地震火山観測研究センター)	15:30 S03-06 海底圧力計データと海洋モデルへのマルチチャンネル特異スベクトル解析の適用によるスロースリップでの海底上下変動の抽出 * 佐藤 利典 ¹ 、柴田 早希 ¹ 、村田 耕一 ^{1,2} 、碓氷 典久 ³ 、塩原 隆 ⁴ 、山田 知朗 ⁴ 、篠原 雅尚 ⁴ (1 千葉大学、2 応用地質、3 気象研究所、4 東京大学地震研究所)	15:30 S10-08 対話型生成 AI を用いた歴史地震の震度判定の試み * 大邑 潤三 ¹ 、北本 朝展 ² 、加納 靖之 ¹ 、橋本 雄太 ³ (1 東京大学地震研究所、2 国立情報学研究所、3 国立歴史民俗博物館)
15:45 S22-15 令和6年能登半島地震地震動シミュレーション その1 経験的グリーン関数法を用いた震源のモデル化 * 川辺 秀憲、野田 将矢 (大阪大学)	15:45 S08-03 Shear Strain Energy Changes in the Coseismic and Postseismic Periods of the 2016 Kumamoto Sequence: Constraints on Background Stress Field * Angela Meneses-Gutierrez, Tatsuhiko Saito (National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience (NIED))	15:45 S03-07 SGO-A において検知される海域の SSE に関する調査 * 横田 裕輔 ¹ 、石川 直史 ² 、渡邊 俊一 ² 、中村 優斗 ² 、永江 航也 ² (1 東京大学生産技術研究所、2 海上保安庁海洋情報部)	15:45 S10-09 三浦半島断層群および相模湾延長部における地震波構造探査 * 石山 達也 ¹ 、佐藤 比呂志 ^{1,2} 、齊藤 秀雄 ³ 、石毛 宏和 ³ 、中田 守 ³ 、阿部 進 ³ (1 東京大学地震研究所、2 静岡大学防災総合センター、3 株式会社地球科学総合研究所)
16:00 S22-16 令和6年能登半島地震震源域における応力降下量の空間変化 * 高橋 努 ¹ 、藤江 剛 ¹ 、篠原 雅尚 ² 、日野 亮太 ³ 、小平 秀一 ¹ 、山田 知朗 ² 、悪原 岳 ² 、尾島 浩一郎 ¹ 、東 龍介 ³ 、山下 裕亮 ⁴ 、村井 芳夫 ⁵ 、馬場 久紀 ⁶ 、八木原 寛 ⁷ (1 海洋研究開発機構、2 東京大学地震研究所、3 東北大学大学院理学研究科、4 京都大学防災研究所、5 北海道大学大学院理学研究科、6 東海大学海洋学部、7 鹿児島大学大学院理工学研究科)	16:00 S08-04 弾性定エネルギーと応力場の時間変化に基づく 2016年熊本地震震源域の絶対応力場の考察 * 寺川 寿子 ¹ 、浅野 公之 ² 、浦田 優美 ³ (1 名古屋大学大学院環境学研究所附属地震火山研究センター、2 京都大学防災研究所、3 産業技術総合研究所)	16:00 S03-08 GNSS-音響測距結合方式の海底地殻変動観測における無人機の活用 * 飯沼 卓史 ¹ 、木戸 元之 ² 、福田 達也 ¹ 、太田 雄策 ³ 、富田 史章 ² 、日野 亮太 ³ 、高橋 浩晃 ⁴ 、堀 高峰 ¹ 、横田 裕輔 ⁵ (1 国立研究開発法人海洋研究開発機構、2 東北大学災害科学国際研究所、3 東北大学大学院理学研究科、4 北海道大学大学院理学研究科、5 東京大学生産技術研究所)	16:00 S10-10 布田川断層帯宇土島北岸区間の南西延長部における高分解能マルチチャンネル反射法音波探査 * 大上 隆史 ¹ 、多良 賢二 ² 、一井 直宏 ² 、久保 尚大 ² 、向山 建二郎 ² (1 産総研 地質調査総合センター、2 川崎地質株式会社)
16:15 S22-17 Site response changes caused by strong ground motions of the 2024 Noto Peninsula earthquake * Miroslav Hallo ¹ , Kimiyuki Asano ¹ , Tomotaka Iwata ² (1 Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University, 2 Professor Emeritus, Kyoto University)	16:15 S08-05 2023年ロイヤリティ 諸島南東部地震 (MW 7.7) で発生した複雑な破壊過程 * 村上 明叶、八木 勇治、奥脇 亮 (筑波大学)	16:15 S03-09 InSAR と GNSS を用いた台湾東部における断層間相互作用の推定: 2022年 Yuli 地震の例 * 石丸 雄理 ¹ 、高田 陽一郎 ² 、景 國恩 ³ 、張 午龍 ⁴ (1 北海道大学大学院理学院、2 北海道大学大学院理学研究科、3 国立成功大学、4 国立中央大学)	16:15 S13-01 石川県能登地方地震にともなう割石温泉の湯量観測 * 田阪 茂樹 (岐阜大学)
16:30 S22-18 Real-Time Monitoring of the 2024 Note M7.6 Earthquake Genesis Process using Physical Wavelets * Fumihide TAKEDA ^{1,2} (1 Takeda Eng. Consultant, 2 Earthquake Pred. Inst.)	16:30 S08-06 Rupture Dynamics and Fault Characteristics of the Maidan Fault during the 2024 Mw 7.1 Wushi Earthquake in Xinjiang, China * Hangyu Gao, Yuji Yagi, Ryo Okuwaki (University of Tsukuba)	16:30 S03-10 2D collision models with visco-elasto-plastic rheology applied to WNW-ESE shortening along the Niigata-Kobe Tectonic zone * Erika Moreno ¹ , Shoichi Yoshioka ^{1,3} , Vlad Constantin Manea ² , Marina Manea ² , Nobuaki Suenaga ¹ (1 Research Center for Urban Safety and Security, Kobe University, 2 Instituto de Geociencias, Universidad Nacional Autónoma de México, 3 Department of Planetology, Faculty of Science, Kobe University,)	
16:45 S08-07 Multi-Scale Rate- and Roughness-Dependent Friction Realizes a Variety of Seismic-Aseismic Transitions * Reiju Norisugi, Hiroyuki Noda (Kyoto University)			

#は招待講演

10月23日(水) 口頭発表

A会場(4階国際会議室)午前

S22. 令和6年能登半島地震

S08. 地震発生の物理

通常講演(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長: 今井 健太郎、水藤 尚
9:00 S22-19 能登半島地震における輪島市河井町の地震火災: 地中メタンの開与可能性とその検証 * 榎本 祐嗣 ¹ 、小松原 琢 ² 、喜安 笑子 ³ (1信州大学、 ² 産業技術総合研究所、 ³ ㈱メーサイ)
9:15 S22-20 2024年能登半島地震による新潟および佐渡沿岸の津波を説明するための津波源に関する検討 * 今井 健太郎 ¹ 、栗原 明也 ^{1,2} 、野 徹雄 ¹ 、有川 太郎 ² (1国立研究開発法人海洋研究開発機構、 ² 中央大学大学院理工学研究科)
9:30 S22-21 Advanced Seismic Depth Imaging of the Tsunamigenic Fault in the 2024 Noto (M7.6) Earthquake Rupture Area * Hamzeh Mohammadigheymasi ¹ , Yige Yang ¹ , Ehsan Jamali Hondori ² , Jin-Oh Park ¹ (1Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, ² Geoscience Enterprise Inc. (GSE), Tokyo)
9:45 S22-22 令和6年能登半島地震の余効変動 * 水藤 尚 (国土交通省 国土地理院)
10:00 S22-23 2024年能登半島地震の地震後地殻変動における粘弾性緩和とアフタースリップの寄与 - 超精密 GNSS 観測網による検証 - * 大鋸 未来 ¹ 、太田 雄策 ¹ 、三井 雄太 ² (1東北大学大学院理学研究科、 ² 静岡大学)
10:15 S22-24 GNSS 統合解析に基づく 2024年能登半島地震 (M7.6) 後の地殻変動 * 西村 卓也 ¹ 、平松 良浩 ² 、太田 雄策 ³ (1京都大学、 ² 金沢大学、 ³ 東北大学)

10:30 休憩

座長: 津田 健一、有吉 慶介

10:45 S08-14 能登半島群発地震における繰り返し地震分布の時空間的特徴 * 小松 真喜、中島 淳一 (東京工業大学)
11:00 S08-15 豊後水道~日向灘のフィリピン海プレート上面における摩擦特性の空間分布: 小地震の応力降下量による推定 * 山田 卓司 (茨城大学学術研究院基礎自然科学分野)
11:15 S08-16 南海トラフで観測された異常に継続時間の長いスロースリップイベントの物理的解釈 * 有吉 慶介 ¹ 、永野 憲 ² 、長谷川 拓也 ² 、飯沼 卓史 ¹ 、中野 優 ¹ 、Saffer Demian ³ 、松本 浩幸 ¹ 、矢田 修一郎 ¹ 、荒木 英一郎 ¹ 、高橋 成美 ⁴ 、堀 高峰 ¹ 、小平 秀一 ¹ (1海洋研究開発機構、 ² 気象庁、 ³ テキサス大学オースティン校、 ⁴ 防災科学技術研究所)
11:30 S08-17 Evaluating Ground Motion Scenarios for the Nankai Trough Megathrust Earthquake based on the Dynamic Rupture Simulation * Kenichi TSUDA ¹ , Bunichiro Shibazaki ² , Akemi Noda ³ , Jean-Paul Ampuero ⁴ (1Institute of Technology, Shimizu Corporation, ² International Institute of seismology and Earthquake Engineering, Building Research Institute, ³ Meteorological Research Institute, ⁴ Institut de Recherche pour le Développement, Université Côte d'Azur)
11:45 S08-18 豊後水道スロースリップの有効法線応力の絶対量の推定: その2 * 笹川 陽二郎、佐藤 利典 (千葉大学)
12:00 S08-19 豊後水道スロースリップ断層面付近で発生した2つのスラブ内大地震による影響 * 北 佐枝子 ¹ 、ヒューストン ハイジ ² 、浅野 陽一 ³ 、加藤 愛太郎 ⁴ 、矢部 優 ⁵ (1建築研究所・国際地震工学センター、 ² 南カリフォルニア大学、 ³ 防災科学技術研究所、 ⁴ 東京大学地震研究所、 ⁵ 産業技術総合研究所)

#は招待講演

B会場(3階中会議室301)午前

S08. 地震発生の物理

S17. 津波

通常講演(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長: 大久保 蔵馬、佐藤 大祐
9:00 S08-08 準点震源解で測る通常地震とスロー地震の歪解放量の二元性 * 佐藤 大祐 (海洋研究開発機構)
9:15 S08-09 スロー地震の統計則を示す浮遊粒子分散系の固着すべり挙動: 粒子運動のその場観察実験 * 佐々木 勇人、桂木 洋光 (大阪大学)
9:30 S08-10 一様平面断層で自発的に生じるスロースリップイベントのセグメンテーション様式 - 速度弱化・強化域の強度比に着目した数値実験 - * 錦織 健人 ^{1,2} 、大谷 真紀子 ¹ 、平野 和朗 ^{3,4} (1京都大学、 ² 協立電機(株)、 ³ 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構、 ⁴ 理化学研究所 革新知能統合研究センター)
9:45 S08-11 力学モデルを用いた断層の形成における摩擦の効果 * 山田 光希 ¹ 、波多野 恭弘 ² 、狐崎 創 ³ (1奈良女子大学大学院、 ² 大阪大学理学研究科、 ³ 奈良女子大学大学院自然科学系 物理学領域)
10:00 S08-12 実験断層上の応力不均質による変はんれい岩ガウジ摩擦特性の見かけのスケール依存性 * 山下 太 ¹ 、溝口 一幸 ² 、福山 英一 ^{3,1} 、飯塚 幸子 ⁴ (1国立研究開発法人防災科学技術研究所、 ² 一般財団法人電力中央研究所、 ³ 京都大学大学院工学研究科、 ⁴ 株式会社セレス)
10:15 S08-13 Evaluation of frequency-dependent attenuation factor for accurate estimation of source parameters in the laboratory earthquakes * Kurama Okubo ¹ , Futoshi Yamashita ¹ , Eiichi Fukuyama ^{2,1} (1NIED, ² Graduate School of Engineering, Kyoto University)

10:30 休憩

座長: 水谷 歩、上谷 政人

10:45 S17-01 韓国東海岸における日本海東縁部の海底活断層からの津波 * 佐竹 健治 ¹ 、室谷 智子 ² (1東京大学地震研究所、 ² 国立科学博物館)
11:00 S17-02 沿岸津波波形を用いた線形インバージョンの不確かさと高度化 * 山中 悠賢、谷岡 勇市郎 (北海道大学大学院 理学研究科附属 地震火山研究観測センター)
11:15 S17-03 ABICを用いた津波インバージョン: 2024年能登半島地震の初期海面変位推定 * 水谷 歩 (東北大学)
11:30 S17-04 津波波形・痕跡高の非線形インバージョンによる2024年能登半島地震の津波波源モデル * 増田 英敏 ¹ 、菅原 大助 ² 、鄭安棋 ² 、サッパシー アナワット ² 、今村 文彦 ² (1東北大学大学院理学研究科地学専攻、 ² 東北大学災害科学国際研究所)
11:45 S17-05 津波痕跡高と非線形津波インバージョン法による2024年能登半島地震の津波波源モデルの推定 * 上谷 政人 ¹ 、馬場 俊孝 ¹ 、有田 守 ² 、由比 政年 ³ 、榎田 真也 ³ 、二宮 順一 ³ 、二木 敬右 ³ (1徳島大学、 ² 金沢工業大学、 ³ 金沢大学)
12:00 S17-06 令和6年能登半島地震における富山湾北東部に襲来した津波第一波の励起過程 * 跡邊 剛太 ¹ 、谷岡 勇市郎 ² 、山中 悠賢 ² (1北海道大学理学部、 ² 北海道大学理学研究科)

C会場(3階中会議室302)午前

S01. 地震の理論・解析法

通常講演(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長: 竹中 博士、川方 裕則
9:00 S01-01 地震変位場の近地項の距離減衰に関する解析的考察: 線震源・円形震源への拡張 * 鈴木 康瑛 ¹ 、三宅 弘恵 ¹ 、平野 史朗 ² (1東京大学地震研究所、 ² 弘前大学大学院理工学研究科)
9:15 S01-02 不均質媒質を透過する弾性波のふるまい(2) ~不均質強さによる差異を明らかにするために~ * 川方 裕則 (立命館大学)
9:30 S01-03 湾地形におけるLg波の伝播特性 - 数値解析的アプローチ - * 安本 陵巧 ¹ 、川方 裕則 ¹ 、平野 史朗 ² (1立命館大学、 ² 弘前大学)
9:45 S01-04 修正経験的グリーン関数法による強震動予測結果の位相波選択に起因する変動 * 菅原 法城、野津 厚、長坂 陽介、福永 勇介 (港湾空港技術研究所)
10:00 S01-05 最大振幅の飽和の影響を考慮した余震による揺れ予測性能の改善 * 澤崎 郁 (防災科学技術研究所 地震津波防災研究部門)
10:15 S01-06 強震記録のスペクトルインバージョン結果を用いた自己相関解析法の提案: 原理と処理方法 * 竹中 博士、渡邊 慎寛、南方 昭寛 (岡山大学)

10:30 休憩

座長: 久保 久彦、高野 智也

10:45 S01-07 コヒーレンス解析に基づくカナダ北部からの超長周期微動の検出 * 高野 智也 ¹ 、Poli Piero ² (1防災科学技術研究所、 ² パドヴァ大学)
11:00 S01-08 東日本沈み込み帯の方位異方性トモグラフィー: 3次元波線追跡法の影響 * 網嶋 椋、趙 大鵬、豊国 源知 (東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター)
11:15 S01-09 岩手県三陸沖におけるDASデータを用いた制御地震探査: 海域浅部P波速度構造の高分解能推定 * 福島 駿 ¹ 、篠原 雅尚 ² 、山田 知朗 ² 、日野 亮太 ¹ 、東龍介 ¹ 、伊藤 喜宏 ³ 、山下 裕亮 ³ (1東北大学 大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター、 ² 東京大学地震研究所、 ³ 京都大学防災研究所)
11:30 S01-10 2022年のフンガ・トングラ・フンガ・ハアパイ火山の噴火時に発生した海洋外部重力波: 噴火過程の推定 * 西田 究 ¹ 、市原 美恵 ² 、久保田 達矢 ² 、利根川 貴志 ³ (1東京大学地震研究所、 ² 防災科学技術研究所、 ³ 海洋研究開発機構)
11:45 S01-11 南海トラフ巨大地震における断層破壊領域推定での津波波源データの活用 * 久保 久彦、鈴木 巨、久保田 達矢 (防災科学技術研究所)
12:00 S01-12 海域で発生した地震のCMT解析の高精度化におけるocean-influenced Rayleigh waveの活用 * 山谷 里奈 ¹ 、久保 久彦 ² 、齋藤 竜彦 ¹ 、武村 俊介 ² 、汐見 勝彦 ¹ (1防災科学技術研究所、 ² 東京大学地震研究所)

D会場(2階中会議室201)午前

S15. 強震動・地震災害

S16. 地盤構造・地盤震動

通常講演(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長: 三宅 弘恵、森川 信之
9:00 S15-01 周期10-50秒帯域の観測位相速度による近畿地方の地殻速度構造モデルの検証 * 上林 宏敏 ¹ 、赤澤 隆士 ² 、岩田 知孝 ³ (1京都大学複合原子力科学研究所、 ² 阪神コンサルタンツ、 ³ 京都大学名誉教授)
9:15 S15-02 震源パラメータのばらつきを考慮した強震動予測手法に向けて * 三宅 弘恵 ¹ 、森川 信之 ² 、藤原 広行 ² 、岩田 知孝 ³ (1東京大学地震研究所、 ² 防災科学技術研究所、 ³ 京都大学名誉教授)
9:30 S15-03 統計的グリーン関数法におけるグリーン関数の改良について-その1: モホ反射面と地殻の層構造の影響- * 久田 嘉章 (工学院大学建築学部)
9:45 S15-04 地震動予測モデルに関する認識論的不確定性 * 森川 信之、岩城 麻子、藤原 広行 (防災科学技術研究所)
10:00 S15-05 条件付き敵対的生成ネットワークとスペクトルインバージョン解析による3成分の時刻歴波形群生成 * 山口 純輝、友澤 裕介、坂 敏秀 (鹿島建設株式会社 技術研究所)
10:15 S15-06 Constructing new empirical envelope function and GMPE for estimating the seismic intensity in combination with IPF method * Hong Peng ¹ , Masumi Yamada ² , Stephen Wu ^{1,3} (1The Institute of Statistical Mathematics, ² Kyoto University, ³ The Graduate University for Advanced Studies)

10:30 休憩

座長: 寛 楽磨、松島 信一

10:45 S15-07 九州弧で発生する深さの異なる地震による強震動 * 寛 楽磨 (神戸大学大学院)
11:00 S15-08 2024年能登半島地震で観測された強震動とスペクトル距離減衰式の比較 * 香川 敬生 ¹ 、吉田 昌平 ² 、宮腰 研 ² (1鳥取大学 工学部、 ² (株)大崎総合研究所)
11:15 S15-09 2022年M _w 7.0台湾池上地震の震源過程 Diao Hongqi ¹ 、* 司 宏俊 ² 、藤原 一之 ² (1株式会社イスマ・リサーチ、 ² 慶応義塾大学)
11:30 S15-10 強震動生成メカニズムの理解に向けた動的震源インバージョン手法の性能検証 * 宮本 英 ¹ 、浅野 公之 ² 、岩田 知孝 ³ 、Miroslav Hallo ² (1東京大学大学院理学研究科、 ² 京都大学防災研究所、 ³ 京都大学名誉教授)
11:45 S15-11 震源断層の上端と地下構造の関係 * 藤原 一之 ^{1,2} (1慶応義塾大学 SFC 研究所、 ² 東京大学地震研究所)
12:00 S16-01 庄内平野での常時微動の単点観測とアレイ観測から推定される地盤構造 * 松島 信一 ¹ 、山本 耕平 ² 、長嶋 史明 ¹ (1京都大学防災研究所、 ² 京都大学大学院工学研究科建築学専攻)

A会場 (4階国際会議室) 午後 S08. 地震発生の物理 通常講演 (講演時間 12分・質疑応答 3分) 座長: 中田 令子、平野 史朗	B会場 (3階中会議室 301) 午後 S17. 津波 通常講演 (講演時間 12分・質疑応答 3分) 座長: 楠本 聡、対馬 弘晃	C会場 (3階中会議室 302) 午後 S01. 地震の理論・解析法 S14. 地震予知・予測 通常講演 (講演時間 12分・質疑応答 3分) 座長: 深畑 幸俊	D会場 (2階中会議室 201) 午後 S07. 地球及び惑星の内部構造と物性 通常講演 (講演時間 12分・質疑応答 3分) 座長: 森重 学、大滝 壽樹
13:30 S08-20 (講演取消)	13:30 S17-07 インドネシア津波警報システム高度化に向けた W-phase インバージョンメカニズム推定の有効性 YUSUF Fadly ² 、* 谷岡 勇市郎 ¹ 、原 辰彦 ³ (1 北海道大学理学研究科附属地震火山研究観測センター、 ² BMKG、インドネシア、 ³ 建築研究所)	13:30 S01-13 等方成分はどこへ行った * 川勝 均 ^{1,2} (1 東京大学地震研究所、 ² 中央研究院地球科学研究所)	13:30 S07-01 海洋プレートの温度構造は拡大速度に依存するのかわ * 森重 学 (東京大学地震研究所)
13:45 S08-21 Feature of cascading rupture frequently observed in Northern California * Weifan Lu ^{1,2} , Satoshi Ide ¹ , Han Yue ² (1 The University of Tokyo, ² Peking University)	13:45 S17-08 Tsunami forecast method for future Nankai earthquakes using a hybrid method of data assimilation with preliminary estimated fault model * Rinda Nita Ratnasari, Yuichiro Tanioka (Institute of Seismology and Volcanology, Hokkaido University)	13:45 S01-14 断層すべりインバージョンにおける誤差についての考察 * 深畑 幸俊 (京都大学)	13:45 S07-02 中部日本下太平洋プレート直上の含水層 * 宮崎 一希、中島 淳一 (東京科学大学 (東京工業大学))
14:00 S08-22 2次元断層面上の確率的破壊伝播モデルにおける予察 * 平野 史朗 (弘前大学)	14:00 S17-09 小笠原諸島父島の 1854 年安政東海・南海地震津波 * 楠本 聡 ¹ 、今井 健太郎 ¹ 、杉森 裕子 ² 、堀 高峰 ¹ (1 海洋研究開発機構、 ² 東京大学史料編纂所)	座長: 庄 建倉 14:00 S14-01 古地震更新過程に関する尤度幾何平均推定値 BPT 分布ばらつきパラメータの精緻化 * 井元 政二郎、森川 信之、藤原 広行 (防災科学技術研究所)	14:00 S07-03 方位依存レシーバ関数とマルチモード表面波のベイズ推定による上部マントル不連続面マッピング: 豪州大陸への応用 * 垂水 光太郎 ¹ 、吉澤 和範 ^{1,2} (1 北海道大学理学部自然史科学専攻、 ² 北海道大学大学院理学研究院地球惑星科学部門)
14:15 S08-23 Models of fluid-driven seismic swarms with permeability enhancement and rate-and-state friction Natalia Berrios-Rivera ² , * So Ozawa ¹ , Eric M. Dunham ² (1 Earthquake Research Institute, University of Tokyo, ² Stanford University)	14:15 S17-10 Physics-Informed Neural Network (PINN) による津波のデータ同化 * 染矢 真好、古村 孝志 (東京大学 地震研究所)	14:15 S14-02 地震予測可能性の定量化およびエントロピーに基づく地震予測評価スコアの精緻化 * 庄 建倉 ^{1,2} (1 統計数理研究所、 ² 総合研究大学院大学先端学術院)	14:15 S07-04 Adjoint inversion of antipodal PKPab waveforms for transversely isotropic P wave velocity anomaly at the base of lower mantle * Seiji TSUBOI ¹ , Rhett Butler ² (1 JAMSTEC, ² University of Hawaii)
14:30 S08-24 単一 Defect を持つ Olami-Feder-Christensen モデルにおける自己組織化臨界現象と相転移の発現 * 大谷 哲人、亀 伸樹 (東京大学)	14:30 S17-11 アジポイント津波波形成および断層幾何とすべり分布の同時インバージョン手法の開発 * 高川 智博 ¹ 、Allgeyer Sébastien ² 、Cummins Phil ² (1 港湾空港技術研究所、 ² オーストラリア国立大学)	14:30 S14-03 機械学習を用いた内陸地震の発生数の推定 * 藤田 知之 ¹ 、高橋 浩晃 ² 、大園 真子 ² (1 北海道大学理学部、 ² 北海道大学大学院理学研究院 附属地震火山研究観測センター)	14:30 S07-05 波形インバージョン法による太平洋 LLSVP 北側周縁部の三次元方位異方性構造推定 * 船橋 郁地、河合 研志 (東京大学大学院)
14:45 S08-25 マルチスケール円形パッチモデルを用いた準動的地震発生サイクルシミュレーションで得られた大地震の繰り返し * 中田 令子 ¹ 、堀 高峰 ² 、青地 秀雄 ^{3,4} 、井出 哲 ¹ (1 東京大学大学院理学系研究科、 ² 海洋研究開発機構海城地震火山部門、 ³ フランス地質調査所、 ⁴ ENS-CNRS PSL, France)	14:45 S17-12 震源域の海底水圧記録の津波・海底永久変位・長周期地震波を活用したリアルタイム津波波源推定 * 対馬 弘晃 ¹ 、久保田 達矢 ² 、齋藤 竜彦 ² (1 気象庁気象研究所、 ² 防災科学技術研究所)	14:45 S14-04 Predicting Earthquakes with Hierarchical Neural Network Models * MATHEUS HENRIQUE JUNQUEIRA SALDANHA ¹ , YOSHITO HIRATA ² (1 Degree Programs in Systems and Information Engineering, Graduate School of Science and Technology, University of Tsukuba, ² Institute of Systems and Information Engineering, University of Tsukuba)	14:45 S07-06 地球外核最下部 (F 層) の地震波速度とその決定法 * 大滝 壽樹 ¹ 、金嶋 聡 ² (1 産業技術総合研究所 地質情報研究部門、 ² 九州大学)
15:00 休憩	15:00 S17-13 千島海溝および日本海溝沿いの地震に対する 2 海域統合確率論的津波ハザード評価 * 土肥 裕史 ¹ 、平田 賢治 ¹ 、藤原 広行 ¹ 、中村 洋光 ¹ 、森川 信之 ¹ 、河合 伸一 ¹ 、前田 宣浩 ¹ 、秋山 伸一 ¹ 、根本 信 ² 、張 学磊 ² 、村田 耕一 ² (1 国立研究開発法人防災科学技術研究所、 ² 応用地質株式会社)	15:00 休憩	
座長: 直井 誠、久保田 達矢 15:15 S08-26 断層力学パラメータを推定するための津波・測地・遠地実体波データの解析スキーム: 2011 年東北地震への適用 * 久保田 達矢、齋藤 竜彦、久保 久彦 (防災科学技術研究所)		座長: 鴨川 仁、西田 究 15:15 S14-05 DEMETER 衛星で報告された地震前 D 領域電子密度上昇は地震先行現象とみなせるか? * 鴨川 仁 ¹ 、山崎 政彦 ² 、児玉 哲哉 ³ 、長尾 年恭 ¹ (1 静岡県立大学グローバル地域センター自然災害研究部門、 ² 日本大学理工学部航空宇宙工学科、 ³ 宇宙航空研究開発機構)	
15:30 S08-27 陸海の強震波形と津波波源データから解像する 2016 年福島県沖の地震の震源過程 * 柴田 律也、久保 久彦、鈴木 亘 (国立研究開発法人防災科学技術研究所)		15:30 S14-06 イワシの大量死・大量漂着は地震の前兆なのか? * 織原 義明 (東京学芸大学教育学部)	
15:45 S08-28 短期的スロースリップにおけるひずみ変化と微動活動の相関 * 勝間田 明男 ¹ 、宮岡 一樹 ² 、露木 貴裕 ³ 、板場 智史 ⁴ 、田中 昌之 ⁵ 、伊藤 武男 ⁶ 、高森 昭光 ⁵ 、新谷 昌人 ⁵ (1 富山大学、 ² 気象庁、 ³ 気象研究所、 ⁴ 産総研、 ⁵ 東大地震研究所、 ⁶ 名古屋大学)		15:45 S14-07 見逃されてきた強力な地震鉛直衝撃波 - その 2 - - ラジオ観音観測による地震直前予知の提案 (2/2) - * 前原 博 (一般財団法人 地球システム総合研究所)	
16:00 S08-29 Molecular Dynamics Investigation on the Lifetime of an α -Quartz Gouge Particle Under Shearing a Pair of Asperity Walls * SHENG LI, Eiichi Fukuyama (Kyoto University, Department of Civil and Earth Resources Engineering, Graduate School of Engineering, Kyoto, Japan)		16:00 S14-08 巨大地震の前兆現象を捉える太陽フレアによる磁気圏の地球平行板コンデンサー現象の発生から巨大地震を予測する * 内野 公雄 (Himawarinowa.lab)	
16:15 S08-30 中速度すべり域における速度・状態依存摩擦パラメータの再検討 * 草田 亘太郎 ¹ 、福山 英一 ^{1,2} (1 京都大学、 ² 防災科学技術研究所)		16:15 S14-09 ナマズは地震を予知していた * 直井 裕 (所属なし)	
16:30 S08-31 深層学習と Matched Filter analysis による水圧破砕に伴う微小破壊活動の解析 * 直井 誠 ¹ 、平野 史朗 ² 、陳 友晴 ³ (1 北海道大学、 ² 弘前大学、 ³ 京都大学)		16:30 S14-10 地震予知への挑戦 * 原 隆伸 (科学技術研究会)	

は招待講演